

としま 議会だより

令和6年3月発行（年4回発行）Toshima Village 2024.3 No.104



▲出初式の様子（中之島）

TOPIX

- 令和5年12月定例会
12月11日～12月13日（3日間）
 - ・条例の制定・改正 6件
 - ・補正予算 7件
 - ・契約 1件
- 令和6年2月臨時会
2月2日（1日間）
承認 1件

議会事務局では、議会だよりの表紙に掲載する写真を随時募集しています。

○一般質問 2件

- ・日高 助廣 議員・・・2～3P
- ・岩下 正行 議員・・・3～4P

肥後村政3期目の総括について

○日高 助廣議員 新型コロナ

ウィルスの蔓延で大変な村政運営であったと思うが、村長の村政3期目のマニフェストの推進は自身が思い描いた通りに成し遂げられたか伺う。

○肥後村長 定住促進対策

は、移住定住イベントへ積極的に参加し、村単独で各島に定住者サポート推進委員会の立ち上げを行っている。また、来年度に向けて、建設コスト及び工期短縮の為、組立型の住宅整備を進めている。

人口対策と産業対策を連動させるため、就業者育成事業制度の年齢要件を見直し新規就業者の対象年齢を65歳まで引き上げ、受け入れる里親の基準を定めたほか、地域お



こし協力隊制度と併せて、最大8年間の生活支援を可能とした。

産業振興については、基幹産業である畜産業の安定、振興が重要と考える。令和2年から国庫補助事業の畜産基盤再編総合整備事業を開始し、家畜共済制度に令和3年6月に全農家加入した。また、獣医師の確保については、令和2年より本庁勤務の1名体制から、諏訪之瀬島・宝島に配置する2名体制とした。

少子高齢化と医療福祉について、令和元年度から看護師の2名体制を目指し取組んでいる。また、遠隔医療支援システムの更新、コミュニケーションアプリの導入等、ICTを活用し、質の高い医療の提供に務め、5月からは、民間病院との間で、医療用ヘリコプターの運用を進めた。

地域活性化と教育文化の推進として、職員の地域担当や、研修を行った。人材育成には時間を要することから引き続き継続していく必要がある。

教育については、GIGAスクール構想を推進しICT教育を推進している。

行財政機能強化として、持続可能な行財政運営による島



▲ 日高 助廣 議員

○日高 助廣議員 村長の任期について4期目を目指すのか。

○肥後村長 平成20年5月

十島村長として就任以来、住民が十島村の置かれた厳しい現状を諦めるのでなく、一つ

一つ改善し安心安全に生活できる環境づくりが私の使命だ
 と思ひ、十島村に住んでよかつた
 と実感できる村政運営を基本理念として、村民や議会のご支援、ご指導を賜り、また職員
 の協力により、誠心誠意取り組んできた。3期目の任期が残り5か月となる中で掲げた政策は概ね達成、あるいは取組みに着手出来ていると認識している。十島村は令和6年度から総合振興計画の第6次がスタートする。区切りも良いことから、新しいリーダーに託したいと思う。従って、残りの任期を全うし、今期を持って退職したいと思う。

○日高 助廣議員 今期で勇退ということでは厳しい時代にリー

ダーとして12年間頑張つて頂

いた。残りの任期を住民と接しながらしっかりと行政運営をお願いしたい。

○肥後村長 任期の5月15日

まで5か月ということ、もう少し出来たのではないかと思う面もあるが、私一人で、これまでの12年間を成し遂げたとは思っていない。そこには、議会があり、そして住民の理解がある。最大の功労者は、私の指示に懸命に付いてきた職員だと思っている。それが、この12年間の中で成し遂げた要因ではないかと思っている。私の至りなきの面も多々あったかと思うが、この12年間、お世話になり、感謝申し上げます。

高齢者の支援・地域づくりについて

○岩下 正行議員 介護福祉

要介護4・5の方々などは、

事業の施策について。高齢者には、やがて介護が必要になる。軽度であれば家族等サポートで生活を維持でき
 るが、認知症が進行したり、持病が悪化するなど、島に住めなくなつた際の支援体制はどうなっているか。

介護認定の程度や生活環境、本人や家族の希望に寄り添い関係者や関係機関の支援を、もらいながら施設等を調整している。これらの基となるのは、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画になる。この計画は3年ごとに見直され、併せて介護保険料の改定も行っている。
 宝島においては、民間介護事業者を指定管理とする小規模多機能施設の運営を行っている。
 小規模多機能施設を含めて、介護制度には限界がある。

年明けに最後の3回目を開催 各島では、人口の減少に伴い、「やねだん故郷創生塾」などし、結論を頂くことになって それまで村内で開いていたイへの参加を呼びかけた。また、ベントも村内では対応できない 人材を育成するためには、地

○岩下議員 地域づくり活動 い状況もあり、このまま地域 域の味方が必要であり、平 について、それぞれの島で役 力が衰えていけば、人も呼び 成29年には各島の全住民を 場担当者と知恵を絞り、次 込めず、定着もしないのでは 対象として、話し合いの場を のリーダーを育てようと地域 ないかとの懸念があった。 設け、自分事として意識して

おこしの活動を行っているが、 そのような中で、全国では もらうため、地域の「良い点・ 村長の考える地域づくりとの 地域づくり活動の活発な地域 悪い点」の意見を出してもらっ ズレがあるように思う。 地域 に人が集まる事例が広く周知 した。令和4年度からは、基 づくりの現状について村長の されるようになり、皆既月食 本的な方針に「住民全員で を受け入れた際に、住民・ 意見を出し合い、島の現状や

○肥後村長 地域づくり活動 役場・委託会社の三者で幾 今後の目標について共通の認 についてこれまでの経過を振 度となく課題解決のための協 識をもつこと」を加え、地域 り返ってみたいと思う。 議を行った経験を今後につな 課題を共有し、目標を立て

当時、人口の減少が続き、 げるため、平成22年度に地 年度末には、目標を達成で 住民基本台帳人口が村全体 域担当職員を設置した。 きたかまで確認することし で600人を割り込み、近い 地域づくりは、旗振り役が た。

将来、定期船の綱取りさえ いて地域を巻き込んだ活動や 地域づくり活動が必ずしも 危ぶまれる時期があった。 事業が紹介されることから、 うまくいっているとは考えて

このままでは、十島村の存続 平成28年度から人材育成を いない、この中から一人でも に関わる。第二の臥蛇島を 重点に10年先20年先を見 二人でも将来の地域を担う人 出さなためにも何かしなく 据えて、比較的若い世代の人 材が生まれ、人が寄ってくる ては、との思いがあり、また 材育成を進める方針とし、 地域になつてもらいたい。

○岩下議員 地域づくりで人 材育成を第一に掲げているが 展望はあるのか。

○肥後村長 国立社会保障・ 人口問題研究所によると、2 040年に本村の人口は20 2人減の466人まで減少す るとの推計結果がある。この ままでは、5年後10年後の 近い将来地域の活力は急速に 失われる。現在はWebでの 研修も増えている。これらが 早々に芽を出すこともあるが、 一般的に時間がかかる。知識 を得て活かし、挑戦する人材 を期待したい。



▲ 岩下 正行 議員

令和5年第4回12月議会定例会

条例の制定・改正

- 十島村職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定
- 十島村特別会計条例及び十島村簡易水道事業設置及び使用に関する条例の一部改正
- 十島村国民健康保険税条例の一部改正
- 印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正
- 十島村立学校の設置及び管理に関する条例等の一部改正
- 十島村職員等の損害賠償責任の一部免責に関する条例制定

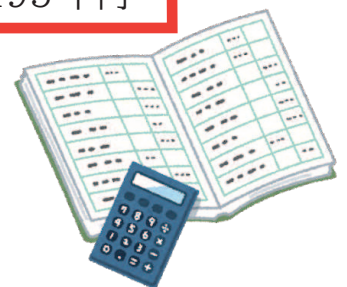
契約

- 高速観光船ななしま2代船建造請負契約の締結
ツネインクラフト&ファシリティーズ株式会社 請負契約金額 297,550,000円



令和5年度補正予算

・一般会計 補正第4号	+221,579千円	→	5,178,935千円
・国保特会 補正第2号	+3,633千円	→	188,534千円
・船舶特会 補正第2号	+35,801千円	→	1,507,082千円
・介護特会 補正第2号	+3,096千円	→	87,286千円
・簡水特会 補正第2号	+96,712千円	→	443,947千円
・後期特会 補正第2号	+137千円	→	19,642千円
・診療所特会 補正第3号	+385千円	→	228,495千円



令和6年第1回2月臨時議会

令和5年度船舶交通特別会計予算補正

(専決処分)

令和5年度十島村船舶特別会計予算の補正について、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、次のとおり専決処分したので承認を求める。

(専決処分の理由)

令和5年12月29日発生フェリーとしま2火災に伴う、避難、救助等に係る費用及び代替船、貨物船備船料等の経費に係る予算の補正に急施を要したため。

補正額

(単位:千円)

歳出	項	補正前の額	補正額	計
5 定期船事故対応関連経費		0	520,570	520,570
	1 定期船事故対応関連経費	0	520,570	520,570
歳出	合計	1,507,082	520,570	2,027,652

議決結果

(議決結果)

令和6年第1回(2月)十島村議会臨時会

議案番号	件名	議決年月日	議決結果	議決番号
報告第1号	令和5年度十島村船舶交通特別会計予算補正(第3号)の件	R06.02.02	承認	承認第1号

編集後記

今回の議会だよりは、12月議会2名の議員の一般質問と令和6年2月臨時会議決結果を中心に編集しています。

議長 前田 功一
 議会広報調査特別委員会
 委員長 田中 秀治
 副委員長 永田 和彦
 委員 土岐 純郎
 委員 岩下 正行
 委員 日高 久志
 委員 日高 助廣
 委員 坂元 勇